

まゆだま

第32号

長野県長野市信州新町上条137番地
☎ 026-262-3111

J A長野厚生連 新町病院

発行責任者

小瀬川和雄

<http://www.shinmachi-hsp.com/>

J A長野厚生連 新町病院理念

私たちは 人の **いのち** と **心** を大切にする医療を実践します。



第12回を迎える当院の病院祭を「超高齢社会の中で守っていくよう地域の医療」へ高齢化の先進地域において新町病院のなすべきことをメインテーマに平成26年11月8日に開催しました。

オープニングには長野市立信州新町中学校吹奏楽部のみなさんが演奏して下さい病院祭に花を添えていただきました。

当日は地域の皆さまに楽しんでいただくこうと職員がさまざまな企画をたて、多くの地域の皆さまにご来院いただき賑やかに開催することができました。これからも地域の方が最後まで暮らせるための病院として職員一丸となり頑張っていますのでご支援を賜りますようお願いいたします。

病院祭

病院祭では当院医師による健康相談、医療パネルの展示や健康チェック、超音波メス、腹腔鏡の体験コーナー、動く介護用品の展示、各種相談コーナーなど様々な催しを企画し大勢の来場者で賑わいました。



健康チェック・各種相談コーナー・医療機器の体験



わたあめ、トン汁、パザー、喫茶コーナーも大盛況でした



アトラクションでは歌いながら書道をする日本唯一のアーティスト友近 890 (やっくん)の「歌&書道ライブ」、JAながの女性部のみなさんによる「スコープ三味線」、AC 長野パルセイロ選手との交流、サイン会などが行われ会場を訪れたみなさんに楽しんでいただきました。



篠ノ井高校犀峽校の生徒もアロマキャンドルなどの販売を行いました。また犀峽校のマスコット「さいきょん」も病院祭を盛り上げてくれました。



病院祭シンポジウム

病院祭特別企画として長野県長寿社会開発センター理事長の内山二郎氏をコーディネーターとし「誰もがその人らしい生涯を全うできる長寿社会の実現」をテーマに住民・行政・地域・医療の代表者をシンポジストとしシンポジウムを行いました。シンポジウムは4つの設問に対し旗揚げアンケート方式で行われ参加された皆さん全員から貴重なご意見をいただきました。



コーディネーター
内山二郎氏



設問①この地域で暮らす高齢者がかかえる不安(課題)? (%)

①	②	③	④	⑤
交通手段	頼れる人	畑仕事	地域の担い手	その他
22	30	13	26	9

- ・ 出かけるのに大変 今は車に乗れるがこれからが不安
- ・ 周りが年寄だけ 家族、隣近所が遠く疎遠になっている
- ・ 足腰が弱ってきた 畑仕事を頑張りすぎてしまう
- ・ 地域の担い手がない 若者がいない

設問③新町病院を利用して不満に感じたことは? (%)

①	②	③	④	⑤
診療科	施設	職員	相談先	その他
50	18	3	8	23

- ・ 毎日やっている科が少なく急にかかれない
- ・ 案内係がない 駐車場が狭い
- ・ 看護師の対応
- ・ 待ち時間が長い 午後の診察がない
- ・ 待合室で知り合いから顔が見られる

設問②新町病院を利用して良かったところは? (%)

①	②	③	④	⑤
身近な病院	時間外の診療	専門医療機関への紹介	相談先	その他
46	29	15	5	5

- ・ 近くだと助かる 地域に溶け込んでいる
- ・ ちょっとしたことでも相談できる
- ・ いつでも診てもらえる
- ・ 治療後に戻ってこられる
- ・ 西山地域で唯一入院できる
- ・ スタッフが顔見知りで安心

設問④これからの新町病院に期待することは? (%)

①	②	③	④	⑤
診療体制	安心できる支援体制	相談窓口	予防活動	その他
44	11	9	29	7

- ・ 総合診療的な医師、専門の医師の確保、緊急の時の診察
- ・ 退院後在宅で暮らしていけるための支援体制
- ・ 寝たきりにならないために、病気になるように予防活動
- ・ 笑顔と挨拶 何でも対応出来る 情報の発信

内山二郎氏は「新町病院はパーフェクトではないが利用者の声を真摯に受け止め改良して利用しやすい病院にする事が大切、この病院がますます地域の方に愛される病院になるといいと思いました」とシンポジウムをまとめて下さいました。

参加したみなさんはシンポジウムに参加していかがでしたか?という質問に病院の体制を知ることによって安心して暮らせる。病院も頑張るが地域も行政も連携する事が大切。といったまとめのご意見をいただきました。

最後に小瀬川院長からこれからは国が進める在宅医療に対応し地域の方が最期まで地域で暮らせるための病院として今回頂いた意見を活かしながら努力していきたいとあいさつがありました。

シンポジストのみなさんのまとめ



当院院長
小瀬川和雄
「在宅医療」

国も在宅医療に向けている。当院も拡大していかなければいけない。在宅医療を支援する体制をつくっていききたい。

信州新町住民自治協議会
瀧澤一彦氏
「あたりまえ」の心がけで

明るく楽しく利発的に前向きに笑顔で。住民相互の交流と親睦を深め関係機関と連携して安心の地域づくりに協力していく。

長野市中部包括支援センター
山下みゆき氏
まず「相談」

認知症の相談、必要な制度の紹介、支援の必要な高齢者やご家族への早期対応に努めています。一人で悩まず相談する事で何か手段でできます。



▲寸劇「おら一家へ帰ってーだ!」ではそれぞれの病院の役割、在宅医療への移行についてを地域の実情をふまえて披露しました

新町病院外来診療担当表

平成26年12月1日現在

	月	火	水	木	金	土(1・4・5週)
内科	1診 小瀬川 2診 塚澤	1診 藤本 2診 細川 3診 小瀬川 (第3のみ予約にて受付)	1診 小瀬川 2診 細川 3診 佐藤 1診 循環器外来 パート 第1・3週午後診察 ※予約制	1診 藤本 2診 塚澤	1診 小瀬川 2診 細川 3診 佐藤	佐藤④ 塚澤①⑤
神経内科				中川 第4週 午後診察 受付午後2:00~4:00		
心療内科			第1週 古屋田 第3週 村田 ※予約制	第3週 倉石(三) ※予約制		
小児科	信大医師	大塚	大塚	大塚 (午後休診)	大塚	信大医師
外科	川手	検査・手術 (外来休診)	川手	検査・手術 (外来休診)	川手	川手
整形外科	大塚①③ 竹山②④ パート医師⑤	竹山	下川	下川	竹山	パート医師
婦人科				信大医師		
耳鼻科	信大医師 午後診察 受付午後2:00~4:30		信大医師 午後診察 受付午後2:00~4:30			信大医師 第1・4週 午前診察 受付午前8:30~11:30
脳外科			第1・3週 松尾			
眼科	吉田	今井(章)	窪田	休診 第3週 午後のみ 新井医師診察あり 受付午後2:00~4:00	今井(弘)	信大医師
皮膚科					信大医師	
泌尿器科			信大医師			

◇ 毎月第4週の木曜日に神経内科の診察が始まりました。
◇ 毎月第2土曜日・第3土曜日は休診です。

◇ 外来受付時間は一部の科を除き午前8時30分~午前11時30分迄です。
◇ 循環器内科・心療内科の診察は予約制です。

木製のイスを寄贈いただきました

信州新町水内にお住いの轟 進さんから木製のベンチ1脚と丸イス2脚を寄贈いただきました。轟さんは3年ほど前から趣味で木製の製品を制作しているそうです。

今回頂いたイスはどれも桐でできておりとても軽く温かみのあるものです。

轟さんは以前当院を訪れた際に高齢の患者さんが多く座って休める場所があると良いと思い寄贈を考えられたそうです。

今回使用した桐は町内の方に処分を頼まれ伐採したもので、捨ててしまえばごみになってしまうが手間暇を掛ければこうして人の役に立つ物に生まれ変わることができる。と轟さんは話してくださいました。

この木製のベンチとイスは玄関に設置し当院を訪れた皆さんにご利用いただきたいと思います。



新町病院トピックス

第65回症例検討会

病診連携の一環として行われている第65回症例検討会を12月4日に開催しました。近隣の診療所・医院の医師、看護師、当院の医師らが参加し各診療所、医院から紹介となった患者さんの経過報告が行われ、その後、医療法人 清水会 更水医院 院長の清水慎介先生から「意外に即効する漢方薬」と題して講演が行われました。

漢方薬は古くから使われているが長く飲まないと効果が出ないというイメージがある。しかし実はこの時期に流行するインフルエンザ、ノロウイルス感染症に即効するものもあると、例を挙げ用法、用量をわかりやすくお話していただきました。二日酔いに効く漢方もあるそうです。

今後も、地域のみなさまのために、近隣の診療所・医院との連携を強化していきたいと思っております。



講演する清水先生

編集後記

近隣の皆さま367名の方に足を運んで頂き病院祭を無事大盛況に終えることができました。ありがとうございました。年が明け、インフルエンザ、ノロウイルス流行の季節となります。手洗いうがいをし、今からウイルス対策をしていきましょう。まゆだま32号をお届けします。みなさまで高覧いただければ幸いです。

お知らせ

現在西棟の耐震工事を行っており駐車場の利用可能スペースが少なく来院いただく皆さまには大変ご不便をお掛けしています。工事は5月末終了予定となります。ご来院の際に駐車場がなくお困りの時は遠慮なく職員にお声掛け下さい。

面会制限について

インフルエンザ、および感染性胃腸炎などの院内感染防止のため一般の方および15歳以下の方の面会を制限しています。付き添いの方、ご家族の方(15歳以下の方は禁止)は面会の際はマスクの着用とアルコールによる手指の消毒の徹底をお願いします。

「一日も早い復興を」

長野県北部を震源とした11月22日の神城断層地震により大きな被害を受けた小川村に職員から募った義援金を贈りました。

日頃お世話になっている小川村の皆さまに対して、我々に何かできるだろうかと考えた末、職員に義援金を呼びかけました。集まった義援金は心ばかりですが復興に役立ててほしいと、事務長、看護部長が同村を訪ね副村長に手渡しました。

被災された皆さまが一日も早く元気にされるよう、また、一日も早く復興されますよう職員一同心よりお祈り申し上げます。

